

2022年度

自己点検・自己評価報告書

東アジア日本語学校
理事長 野田 舞

日本語教育機関のための自己点検・評価項目

本校は告示校として日本語教育期間の告示基準第1条第1項第18号2に規定されている、教育水準の向上と適切な業務運営を継続させる為、自己点検及び自己評価項目を設定し定期的に点検・評価を行う。

【評価】

※各項目評価方法は5段階評価とする（5～*）

達成している・適合している	5
概ね達成している・概ね適合している	4
どちらともいえない	3
取り組みを検討中	2
改善が必要	1
該当なし	*

1. 教育理念・目標

教育理念：「創造・切磋琢磨・自主」という校訓を掲げ、学生自ら意欲的に学び、友を認め合い、切磋琢磨して目標達成させ、創造性に富み、豊かな人間性を身につけ、幅広い視野を持ち、国際社会の平和と発展に貢献・寄与できる人間の育成を目指す。

教育目標：

○私たちは、急速に国際化が進む今日、人間尊重の精神に則り、留学生の一人一人のニーズに応じた日本語教育を行い、社会に出てから即戦力となる人間性豊かな真の国際人を育成します。

○私たちは、学生一人一人の学習意欲を高め、日本語能力を最大限引き出し、大学や大学院、短大、専門学校への進学目標を達成させます。

○私たちは、志高い留学生の一人一人に寄り添い、理解と支援に徹し、学生が意欲的に学び、自らの進路を切り開いていくことができるようにします。

○私たちは、教育目標具現化のために東アジア日本語学校の一職員として、職務の使命と責任を自覚し、協働の参加意識を高め留学生の夢の実現に全員で一生懸命に職務を遂行します。

育成する人材像：

○グローバル化に対応し、国際競争力を身につけた人間性豊かでたくましい優秀な人材を育てる。

○学生自らの学ぶ意欲を尊重し、一人一人の能力を最大限伸ばし創造性豊かな人材を育てる。

○異文化理解・相互理解を図り、共生社会に生きる人材を育てる国際教育を目指す。

	評価項目	評価
1-1	教育理念・目標が明確に定められているか	3
1-2	教育理念・目標を実現するための具体的な計画を持っているか	2
1-3	学校の特色として挙げられるものがあるか	3
1-4	学校の将来構想があるか	2
1-5	理念に基づく教育が行われているか	3

現状、具体的な取り組み及び課題

教育理念・目標は定めているが、それらを実現するための計画の具体性・妥当性については試行錯誤している。
学校の特色としては、進学希望の学生を軸に日本語習得及び進学指導をきめ細やかに行うこと、4技能を総合的に伸ばしつつN2取得を目指すこと、日本語能力だけでなく日本の社会生活・習慣・伝統文化・日本事情など幅広い視野を持った人材を育てることを目標にしている。

2. 学校運営

	評価項目	評価
2-1	運営方針は定められているか	2
2-2	事業計画は定められているか	2
2-3	運営組織や意思決定機能は確立され、効果的なものになっているか	3

2-4	人事や賃金での処理・職場環境の改善に関する制度は整備されているか	2
2-5	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3
2-6	学校運営を客観的に評価し、維持向上させる機能が整備されているか	3
2-7	危機管理体制は整備されているか	3
2-8	施設・設備は教育上の必要性及び学生の安全確保に十分対応できるよう学校教育法に基づき整備されているか	3

現状、具体的な取り組み及び課題

前期においては、組織体制や運営の整備に未達成の部分があったが、人員配置等により改善方向にある。また、週1回の教職員全体会議で各部署の現状報告や課題を議論し、運営方針・事業計画の実現に向けて取り組んでいる。人事や賃金での処遇について、非常勤講師の処遇の改善は概ねなされているが、専任講師や事務職員については改善中である。学校管理システムの活用により、学生の在籍に係る管理や各省庁への届出等が電子化され、業務の効率化が図られている。

3. 教職員

	評価項目	評価
3-1	教育理念・目的が教職員間で共有されているか	2
3-2	教育の質を向上させるための取り組みが確立されているか	3
3-3	教育評価を行っているか	3
3-4	人事評価制度は整備されているか	2
3-5	昇進昇格制度は整備されているか	3

現状、具体的な取り組み及び課題

教育の質を向上させるために、日常的に学生には宿題を配布し、授業の予習・復習を含めた自宅学習をする習慣づけを行っている。
 教員が参照できる資料・書籍は常に閲覧可能な環境を整備しており、各教科書や各試験対策問題集まで取り揃えている。
 教育評価については、昨年より学生アンケートを実施し、自身の授業を振り返る機会を設けたり、授業見学を実施し、フィードバックをして授業の改善点などを話したりする等、教員のスキルアップを図る取り組みを進めている。

4. 採用と育成

	評価項目	評価
4-1	教職員の採用制度は整備されているか	3
4-2	学校運営に必要な人材の確保と育成が行われているか	2

現状、具体的な取り組み及び課題

教職員の採用制度については、学校独自の評価項目を設けており、それに応じて採用を行っている。

人材の育成については、初任の教員に対して有償の研修を実施したり、職員研修を実施したりすることにより、教職員の育成を図っているが、人材確保の面では理想の人数に達するまでには至っていない。

5. 教育活動

	評価項目	評価
5-1	理念・教育目標に合致したコース設定が行われているか	2
5-2	カリキュラムは体系的に編集されているか	2
5-3	授業評価の実施・評価体制はあるか	3
5-4	目標に向け授業を行うことができる要件・資質を備えた教員を確保しているか	3
5-5	教育内容及び教育方法について、教員間で共通理解が得られているか	3
5-6	進級、修了、卒業の判断基準が明確であるか	3
5-7	成績評価は適切に行われているか	2
5-8	成績や進級の条件等を学生に周知できているか	2
5-9	授業に必要な教材など十分に揃っているか	3
5-10	各種日本語試験の認定向上のための指導体制は整っているか	3

現状、具体的な取り組み及び課題

教育内容・教育方法については、非常勤講師を含めた教員会議を定期的を実施し、学校の方針として取り決めるようにしているが、個々の実力に差があるため、目標達成に向けて教員の資質を上げることが課題である。

成績評価については、学校独自の基準を設けているが、妥当性については検証段階であるため、妥当な成績評価をいち早く確立することが課題である。

教材については、電子化・システム化という面でまだ対応できていないので、導入を進めていく予定である。

6. 学生支援と生活指導

	評価項目	評価
6-1	進学・就職指導に関する体制は整備され、有効に機能してるか	3
6-2	学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	3
6-3	学生の心身の健康管理・事故・ケガに対するサポート体制があり、有効に機能しているか	2
6-4	学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	3
6-5	保護者と適切に連携しているか	2
6-6	休日及び長期休暇時の学生対応はできているか	3
6-7	入学直後のオリエンテーションを実施しているか	3
6-8	生活に関するオリエンテーションを実施しているか	3
6-9	常に最新の学生情報を把握しているか	2
6-10	卒業生への支援体制はあるか	2

現状、具体的な取り組み及び課題

進学指導に関しては、教職員で役割分担をし、学生に合った指導を実施しているが、就職指導に関しては、模索的な部分があるため、今後の課題である。

学生相談等のサポートは、教職員・海外スタッフが対応しているが、学生数に対してスタッフの人員が足りていない状態であるため、個別対応が行き届かない時がある。スタッフの負担を軽減する効率的な体系を作る必要がある。

入学後、学校及び生活面のオリエンテーションは実施しているが、しばしば問題が起きるため、オリエンテーションの内容と方法の見直しをする必要があると思われる。

学生情報の把握作業は定期的に行っているが、学生からの報告漏れがしばしば見られるため、把握方法の改善が課題である。

7. 入国・在留管理

	評価項目	評価
7-1	研修受講等により、最新の情報収集を継続的に行っているか	3
7-2	入国・在留関係の管理、指導を定期的に行っているか	2
7-3	在留上問題のある学生及び問題になり得る学生の指導を個別に行っているか	2

現状、具体的な取り組み及び課題

外部研修への参加は十分とはいえないが、福岡出入国管理局が実施した研修に参加をした。今後も研修への参加機会を増やし、最新の情報を収集する。
 入国前、入国時、入学数か月後に在留に関する指導を行っている。今後も定期的を実施し、学生の在留管理を行う。

8. 学生の募集と受入

	評価項目	評価
8-1	学生の受入方針は定められているか	4
8-2	学生募集活動は、適正に行われているか	4
8-3	募集担当職員は学校の情報を正しく認識した上で入学相談を行っているか	4
8-4	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
8-5	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	4
8-6	適正な定員設定及び在籍者数になっているか	5

現状、具体的な取り組み及び課題

現地教育機関の仲介機関を介して、日本で勉強したい、将来日本の企業に就きたい学生の推薦を受け、オンラインZOOM又はSKYPEによる面接し、選考合格者に入学許可をしている。今後は現地にて面接をする予定である。

9. 財務

	評価項目	評価
9-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	*
9-2	予算・収支計画の有効性及び妥当性は保たれているか	*
9-3	財務について適正な会計監査が実施されているか	*
9-4	財務情報公開の体制整備はできているか	*

10. 法令の遵守

	評価項目	評価
10-1	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3
10-2	教職員のコンプライアンス意識を高めるための取り組みを行っているか	2
10-3	教職員の個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
10-4	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	2
10-5	自己点検・自己評価結果を公開しているか	2
10-6	関係省庁への定期報告を遅延なく実施しているか	2

現状、具体的な取り組み及び課題

出入国管理及び難民認定法等の各種関係法令を遵守し、適正な運営ができている。教職員のコンプライアンス意識を高める取り組みとして、週1回の教職員全体会議で定期的に法令に係る事項の説明を行っている。教職員の個人情報については、担当責任者のみが扱えるように厳重に管理している。自己点検および告示基準第1条第1項第44号報告については学校ホームページで閲覧できるようにする予定である。

11. 社会貢献

	評価項目	評価
11-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	2
11-2	学生のボランティア活動を支援しているか	2

現状、具体的な取り組み及び課題

コロナ禍ということもあり、地域社会と接する活動はこれまでできていなかった。その分、授業内でボランティアや地域社会について学べるような機会は設け、日々の学校生活でも規範意識を持たせる取り組みは行った。今後は地域と接することのできる活動を増やしていき、社会貢献できる人材育成に注力していきたい。